



荒井会計事務所 経営企画室 室長
クラウド推進事業部 部長

豊田 啓彰 様



free で、日本各地の離島のスモールビジネス、バックオフィス業務をサポートしています。

interview by free 

荒井会計はクラウド会計に力を入れています。クラウドをやるということは、遠隔地への挑戦でもありますから、日本全国のあらゆる島および陸の孤島である中山間地域のスモールビジネス、バックオフィス業務をサポートしたいと考えています。

free との出会い

わたしは、もともと free をユーザーとして使っていて、顧問先だった会計事務所へと入りました。日本初のケースではないかと思っています。(笑) 当時、起業をする際に会計ソフトを探していたのですが、正直どれも使いにくいと感じました。簿記の知識がないと使えないからです。起業して事業をしたいのに、なぜ簿記に時間をとられなければならないのかと強いストレスを覚えました。そんなときに知ったのが free です。簿記の知識がなくてもお小遣い帳感覚で入力でき

き、しかもそれが会計事務所とつながり、事務所のレビューまで一気通貫してなされる。探し求めていたのは、まさしくコレだったわけです。

ユーザーとして実際に使ってみて、感心するのはユーザーにフォーカスしている点です。簿記の概念を表面上からほぼ一切なくしているため、とても使いやすいのです。一方、従来の会計事務所にとってはその逆で、自己否定をされているように感じる方もいらっしゃいます。たしかに、表面的にとらえてしまうと、使いづらいと感じてしまうかもしれませんが、実際使ってみるとそうではありません。結局、食わず嫌いの面が多いのではないかと考えています。

クラウドで遠隔地へ挑戦、離島プロジェクトをスタート

わたしが起業していた頃、全国各地の離島とつながりを得ました。島にも、多数

のスモールビジネスが存在するわけですが、島の中で完結しないことがあまりにも多いことを知りました。確定申告はもちろんのこと、記帳したくても ATM が島にないというところもある。そのため、税務申告や手続きなど、正しく、当たり前前のことが当たり前でできていなかったのです。事業自体が正しく、長く存続するために。島にしながら本業に集中できるようにするために。そのためには、その仕組みづくり、環境づくりが大切です。その役割を担えるのは、経理、会計をお預かりして、経営アドバイスもできる会計事務所だと考えました。

島内にも会計士はいますが、クラウドを使った会計をお願いできるかといえませんが、業界自体が高齢化しているため、島の会計士さんが辞めてしまえば、いま頼んでいるバックオフィス業務なども止まってしまうし、それが目に見えています。そこで、わたしたちは free を使った会計およびバックオ

フィス業務のサポートを開始しました。基本的には、自計化、記帳代行を行っています。島の主要産業は観光業ですが、観光業は事業に波があります。忙しい時期には本業に集中したいので、その時期だけサポートを頼み、閑散期は自分でやりたいという方もいらっしゃいます。そのため顧問料でなく、頼みたいときだけ頼める、頼みたいサービスにだけ対価を払えるような料金メニューも用意しています。コミュニケーションは、さまざまなクラウドツールを活用することでスムーズに行えます。

離島といわれると閉鎖的なイメージがあるかもしれませんが、近場に頼んでしまうことで情報が漏れてしまう懸念から、近くには頼まないという会社もあります。意外でしたが、地縁がないことが逆にアドバンテージになることもあるのです。あまり固定観念に縛られることなく、発想の転換も大切だと感じました。free と離島の親和性は非常に高く、これまで島内で完結できないことができるようになり、選択肢を広げることができています。現在は、小笠原の父島、竹富島、沖縄本島、与論島など、自分たちのネットワークと、free からの顧客紹介で、顧問先が広がっています。

バックオフィス業務のサポート役としても、地域活性化を後押ししたい

このように、島と中山間地域のお客様が経営の本業に集中できるようバックオフィスの仕組みづくりを積極的にサポートしているわけですが、今後は、幅広いお客様へ対応していきたいと思っています。将来的には経理にとどまらず、ワンストップで社労士分野や行政手続き、司法書士なども含めてバックオフィス代行業をやりたいと考えています。

また、人口減社会が進む現代において、中小企業では、ますます人材確保がより



難しくなっています。とくに地方における経理の人材、簿記知識のある人材確保の厳しさは想像に難くありません。地方にしながら事業を続ける、働き方の多様性を認めるためにも、バックオフィス業務は地方で完結しなければなりません。だからこそ、クラウドでインフラをつくるのが重要なのです。わたしたちが、バックオフィス業務のサポート役として、その仕組みづくりをお手伝いし、展開し続けることによって、地方から日本を変えていくことができるのではないかと考えています。

クラウド化は会計業界の人材確保にもメリット、会計業界のスタンダードを変えていきたい

地方の中小企業のみならず、会計事務所の人材確保も難しい時代になっています。世の中では、規制緩和が進んでいるため、今後ますます会計事務所には柔軟性が求められるはずですが、たとえば、違う業界から来た人、新しい人に対して、権限をもたせられるか。新しい風を入れて旧態依然とした体制を変えられるかどうか。中長期の計画を立てること（一般企業と違って会計事務所は意外と立てていないことが多い）、ビジョンを描いてそ

れに向けて行動するかどうか、などです。

しかし、依然として会計業界の求める人材は変わっていませんし、それに対して人が集まらなくなっています。わたしたち荒井会計では、従来重視していた税理士試験科目合格、簿記資格よりも、ジェネラルなスキルを重視していきたいと考えています。会計や簿記知識がなくても使えるクラウド会計が普及している現在なら、簿記の知識がなくても、むしろ顧客目線や経営センスを持っていること、他の知識があるスタッフを雇うほうが有効ではないかと考えるからです。そしてその知識を顧問先の経営に活かすことができるという意味では、それこそが大きなイノベーションだと思います。

他業界のスタンダードを持つ人間が入ってきて、会計業界のスタンダードを変えていく。わたしたちは、そのようなリーディングカンパニーでありたいと考えています。



荒井会計事務所

所在地：群馬県前橋市天川原町 1-2-18 クレストビル 1F
電話：027-221-9876

群馬県前橋市の会計事務所としてお客様の会計業務の効率化、決算申告や経営改善等のコンサルティングを行っており、経営者の身近なアドバイザーとして、セミナーや勉強会等で経営課題解決のサポートも行っている。